

## 産学連携型PBLの教育実践における一考察

○鳥谷 直宏（大阪府立農芸高等学校）

### 1. はじめに

大阪府立農芸高等学校はハイテク農芸科、食品加工科、資源動物科の3科を設置し、創立104年目となる農業の専門高校である。大阪という立地を生かした地域資源である地域人材を活用して、地域企業との協業により人と学校を繋ぎ、地域を創造する人材育成をめざした都市型農業教育を実践している。

2016～2018年度には(独)工業所有権情報・研修館主催の知的財産権に関する創造力・実践力・活用力開発事業の展開型校として受託研究を受け、その後2017～2020年度大阪府教育庁企業等連携による実践的技能力育成事業、2017年度国立大学法人山口大学の地域創成に資する専門教育機関と中小企業の連携支援事業、2018～2020年度文部科学省SPH指定校として、日々農場での栽培や加工、飼育や販売において知財学習の視点から農業教育を捉え、農業の6次産業化を実践できる力を生徒たちに育んでいる。

本発表では、2017～2020年度の3年生選択科目「農業経営」2単位(以下、本科目)で取り組んできた授業実践について報告する。

### 2. 産学連携の概要

本校では科目「課題研究」「総合実習」を中心として、多くの企業や地域と連携を図りながらプロジェクト学習を展開している。農業の専門科目においても、必要に応じて多様な授業を展開できるよう、知財学習を軸に据えて、生徒の主体的かつ自主的な学びの機会の創出に力を入れている(図1)。本校と地域社会が有する地域資源や知的財産を活用し、多種多様な結びつきを生徒の研究活動や学習環境に適時、調整しながらファンリテートできるよう取り組んでいる。その教育手法や学びの手段は一様でないため、産学連携や研究活動の発展の形が異なる。そのため、産学連携に際しては、企業等の利益や理念を十分に理解すること、また生徒の学びにつながる教育活動となるよう留意している。

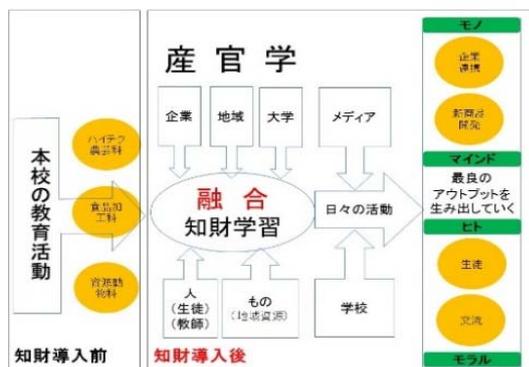


図1 本校における産学連携のフロー



図2 Agrifesのイベント会場の様子

### 3. 協力企業

アーラキッチ(以下、同社)は本校近隣(所在地:大阪府大阪狭山市東野西 2-836-3、設立:2020年4月1日)の飲食店であって、本校生徒が企画運営する「農と食の体験」を提供するイベント(Agrifes)の開催(図2)に協力いただいた。前身のPanzerotteria(パンツェロツテリア 大阪 ファクトリー)として2014年7月に大阪府堺市美原区にオープンしたカフェ・ダイニングスペースのある揚げピザ屋の頃より連携が続く。

#### 4. 活動概要

##### 1) 本校農産物を活用した新商品開発

- ・ナス、モロヘイヤ、タマネギ等の揚げピザ(図 3)
- ・ブロッコリー、ホウレンソウ、ニンジン、ジャガイモ、豚肉等のポトフやスープ
- ・サツマイモ、モモ等のデザート(図 4)



図 3 本校農産物を活用した揚げピザ 図 4 セット販売した商品

##### 2) Agrifes の企画運営と農産物の販売および新商品開発したメニューの販売戦略

- ・Agrifes のロゴ、のぼり、タペストリー、ワッペン等の製作(図 4)
- ・Agrifes の企画・運営(図 5)
- ・Agrifes の広報活動
- ・Agrifes での農産物と新商品開発したメニューの販売
- ・Agrifes における他学科との連携

##### 3) 産学連携の概要

農産物を基にした加工食品の開発については同社との連携により、商標を活用したそのブランディングによる探究については山口大学から(図 5)、Agrifes の企画運営は SPH 運営指導委員よりご指導頂き、生徒主体の産学連携型のプロジェクト学習に取り組んだ。今後も継続した産学連携による教育活動を展開するためには、メニュー開発、調査や宣伝、交通費、謝金などの財源確保に向けた整備が必要である。



図 5 商標アイデア発想の変遷

#### 5. 謝辞

2017～2020 年度大阪府教育庁企業等連携による実践的技能力育成事業、2017 年度国立大学法人山口大学の地域創成に資する専門教育機関と中小企業の連携支援事業、2018～2020 年度文部科学省 SPH 事業としての取り組みをまとめたものである。すべての関係者に御礼申し上げます。